

# スマートマンションルーム実証実験

京都大学松山研究室、株式会社エネゲート、オムロン株式会社、住友電気工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、ローム株式会社、NICT委託研究「情報通信・エネルギー統合技術の研究開発」プロジェクト

## 実証実験概要

・「けいはんなエコシティ次世代エネルギー・社会システム実証」の**先導的実証実験**としてマンションルームにおけるスマートタップを使ったエネルギーマネジメントの生活実証実験を行う。

## 実証実験の目的

- ・各社のスマートタップの相互接続検証
- ・消費電力見える化の効果の検証
- ・電力消費パターンの学習・解析

## 使用家電

30種類（テレビ、ゲーム機、エアコン、電子レンジ、冷蔵庫、掃除機、洗濯機、備え付け照明など）

## スマートタップ50台

- ・分電盤用（主幹1+6系統）
- ・テーブルタップ型3台
- ・コンセント型40台

## ホームサーバ・リビングインタフェース

- ・すべての家電の電力消費を計測
- ・実際の生活空間で検証

## 実験ルーム ジニアス室町（四条烏丸）

1LDK（3.3.2.1㎡）入暮らし〜2人（夫婦）



## システム構成

### サービス連携

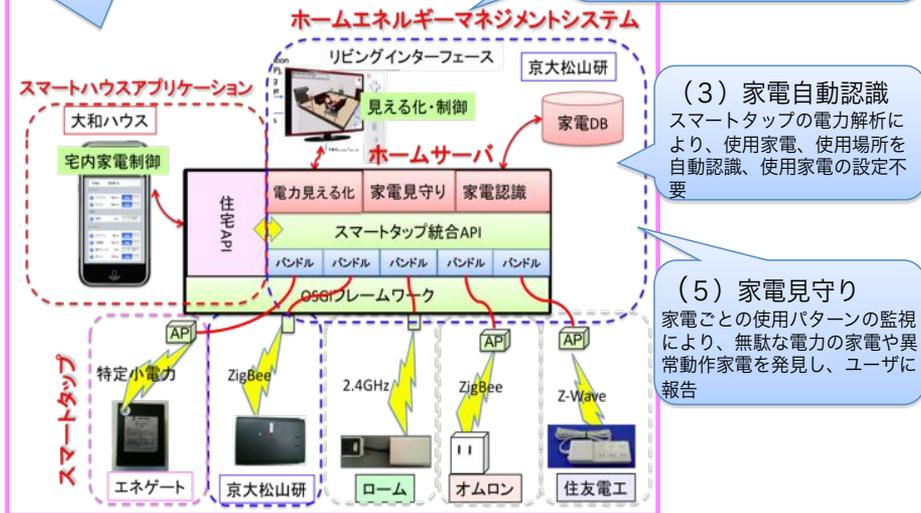
異なるメーカーの家電製品・設備機器を共通でコントロールすることができる「\*住宅API」との連携  
\*「スマートハウス実証プロジェクト」にて開発

### ホームサーバ

ホームサーバのモジュール化により、サードパーティアプリケーションの追加、各メーカーのスマートタップ間の相互連携が可能

### (4) リビングインタフェース

による家電見える化・制御  
日常的に使用するテレビとゲーム機の直感的なインタフェースにより、生活のなかでの消費電力の確認と家電制御



### (3) 家電自動認識

スマートタップの電力解析により、使用家電、使用場所を自動認識、使用家電の設定不要

### (5) 家電見守り

家電ごとの使用パターンの監視により、無駄な電力の家電や異常動作家電を発見し、ユーザに報告

## スマートタップ相互接続

ホームサーバにバンドル（モジュール）をロードすることで異なる通信方式、異なる仕様の各社スマートタップを相互接続・連携